

目指す教師像

- 互いに学び合い、指導力を高める教師
(資質・能力の向上)
- 教職への誇りと責任をもった教師
(服務規律の確保)
- ワークライフバランスの優れた教師
(心身の健康と働き方改革)

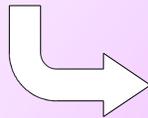


学校教育目標 ともに学び、未来を拓く たくましい生徒の育成

校歌のキーワード「友と学ぶ・自主・根強く・未来・力のかぎり」

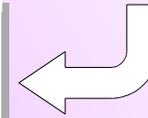
目指す生徒像

- よく考え工夫して学ぶ生徒(知)
(知と未知・自分の学び方を見つける)
- 人と自分を大切にできる生徒(徳)
(メンタルヘルス・折り合いをつける)
- 心と体を粘り強く鍛える生徒(体)
(挑戦・緊張と失敗を糧にする)



目指す学校像

- 授業・行事・部活動を柱に学ぶ喜びのある学校
- 場にふさわしい規律のある学校
- 学習環境が整い、清潔で安全な学校
- 家庭・地域と連携協力し、生徒を育てる学校



学校経営方針(本校教職員がなすべきこと)

「チーム藤中」の一員として、全教職員が「よさ」を発揮し、活力のある学校・学年・学級・部活動づくりを推進する

- より効果的な指導を試み、授業で確かな学力を育成する。
- 「学び合い活動」とICT等の教育機器を効果的な活用を図る。
- 行事等の企画・運営を通して、人を育てる資質・能力を高める。
- 部活動を通して、生徒に生涯学習の基礎を培う。
- 生徒・保護者・地域から信頼される親身な生徒指導・教育相談を行う。
- 事故防止に努め、安全で安心な学校環境を整える。
- 教育公務員として、生徒・保護者・地域から信頼される言動をとる。
- 互いを尊重し合い、働きやすい風通しのよい環境を自らつくる。

令和5年度の重点

- ①全ての生徒に着実に学力をつける授業 → 学力の向上を図る「学び合い活動」と「ICT機器の活用」を実践する**
○生徒の活動量を確保し、学力向上につながる「学び合い」を共有し実践する。 ○ICT機器等を活用し、分かりやすく深まりのある指導を行う。
- ②生徒一人一人の居場所を大切にできる教育相談活動 → メンタルヘルスリテラシーの研究を生かし、自他尊重の資質を育む**
○学級活動・個人面談を通して、自己理解を支援し、自立と成長の基礎を育む。 ○Hyper-QUを活用し、生徒個々に応じた適切な支援を行う。
- ③「いじめ0・いじり0」の道徳教育 → 自分事と考えられる人権感覚の醸成する**
○道徳を核として自他を尊重し、認め合う。 ○特別支援教育の視点を踏まえ、個別の適応指導プログラムの推進する。
- ④一人一人の夢を理解し、応援するキャリア教育 → 発達段階に応じたキャリア教育を実践する**
○義務教育修了後の姿を考え、志を立てる進路指導に取り組む。 ○体験活動の充実を図り、夢を育む教育の実践する。
- ⑤学校・学年行事、部活動を大切に、生徒と教師が共に燃える特別活動 → 人と自分を大切に、藤中ならではの特別活動を実践する。**
○所属感を培う学年・学校行事を企画・運営する。 ○校則等の意義を考え、自治意識を高める生徒主体の活動に取り組む。 ○心身ともに逞しい生徒を育成する。
- ⑥きれいで潤いがあり、安全・安心、規律ある環境教育 → 場への感謝の心と、自ら健康安全に努め、自律的な教育活動を実践する。**
○感謝の心を育む清掃活動を行う。 ○学力向上につながる掲示を充実する。 ○地域と連携した交通安全・防災教育に取り組む。
- ⑦保護者や地域をパートナーと考えるPTA活動 → 子ども中心の「絆」づくりを推進し、大人が手本を示す教育の充実を実践する。**
○魅力ある藤中に資する学校運営協議会の充実を図る。 ○藤中の教育活動をホームページや学校便りで発信する。 ○教職員のPTA・地域活動への積極的な参加を図る。